

犯罪・有害情報から子どもを守ろう!

近年、インターネット・SNSを介して、違法薬物や凶悪犯罪に加担させられたり、犯罪被害に遭ってしまう青少年も全国的に増えています。今あらためて、子ども・若者たちに薬物の恐ろしさ、SNSに潜むリスクを考えてもらい、ネット上に溢れる有害情報やフェイク情報を判断できる力が求められています。

学校での講話など、さまざまな機会を通じて、啓発活動に取り組んでいます。



【薬物・SNS問題に関して市内中学校にて講演をしました】

亀井を探せ! お見かけの際はぜひお気軽に!

おかげさまで、議会活動とともに、地域では町内会活動、地域活動、ボランティア活動に多くの方々と取り組んでいます。そして、さまざまなお話やご意見を聞かせていただくことが活動の糧となっています。

日々、区内・市内のどこかで飾らず活動しております。街角でお見かけの際はぜひ気軽にお声がけください。



【「えっ、あなた議員なの?」と言われることもしばしば(笑)】

学校飼育ウサギ、着実に減少しています!

「学校のウサギがかわいそう。なんとかありませんか。」そんな声を受けて、市議会で長らく、「学校飼育動物の飼育環境改善を」を訴えてきました。

近年では、保護活動に取り組む市民ボランティアとの連携・協働が始まり、市教育委員会・各学校の協力もあり、飼育廃止を決断し、新しい飼い主に譲渡する流れが飛躍的に進んでいます。

子どもたちも「動物福祉」を学ぶきっかけとなり、理解を示してくれています。



【飼育廃止した小学校でのウサギの卒業式(お別れ会)】



市政へのご意見は… 携帯電話 090-3694-4173 TEL/FAX 043-255-8108

携帯電話か留守番電話にメッセージをお願いします! お手紙も大歓迎です!

ホームページ <http://www.kamei-takuma.com>

メール DQG06110@nifty.ne.jp

フェイスブック、ツイッターで、日々の活動を報告しています!

亀井たくま

で検索ください!



亀井たくま(45歳)、日々修行中です!!

1980(昭和55)年3月生まれ。中央区椿森出身・在住。

●作草部幼稚園 ●都賀小 ●椿森中 ●市立千葉高 ●早稲田大学政治経済学部 ●早稲田大学大学院公共経営研究科修了。2007年市議選で21票差で落選。2011年初当選。2023年、4期目当選(2期連続1位当選)。学生時代は吹奏楽部に所属。

地域での仕事 ●千葉市スポーツ推進委員 ●千葉市青少年相談員 ●院内小、椿森中地区各種団体役員 ●椿森3丁目・5丁目地区役員 ●第4地区(椿森中学校区・東千葉地区)町内自治会連絡協議会理事

資格 ●行政書士 ●社会福祉士 ●精神保健福祉士 ●愛玩動物飼養管理士 ●防災士 ●ホームヘルパー2級 ●社会保険労務士 ●宅地建物取引士

議会での仕事 ●都市建設委員会委員 ●市議会運営委員 ●保健所運営協議会委員

趣味 ●明治～昭和の懐メロ。童謡・唱歌。 ●NPO東海林太郎顕彰会理事(本部・秋田市) ●好きな歌手は灰田勝彦、東海林太郎、三浦洸一。(地域で演奏・茶話会のボランティアしています)

市民の皆様と一緒にクリーン・あたたかな市政をめざします!

ワンコインカンパ(1口500円・複数口大歓迎!)にご協力ください。

郵便振替口座 00190-7-456984 亀井たくまと亀の歩みの会



最後までお読みいただきまして、ありがとうございました!

ひとりひとりを大切にする千葉市政を!

千葉市議会議員(120%市民派!無所属)

議会報告
62号

亀井たくま ニュース

発行 亀井 琢磨 2025年夏の便り号

自宅 〒260-0042 千葉市中央区椿森3-13-8

携帯 090-3694-4173

事務所 〒260-0042 千葉市中央区椿森5-4-5

TEL/FAX 043-255-8108

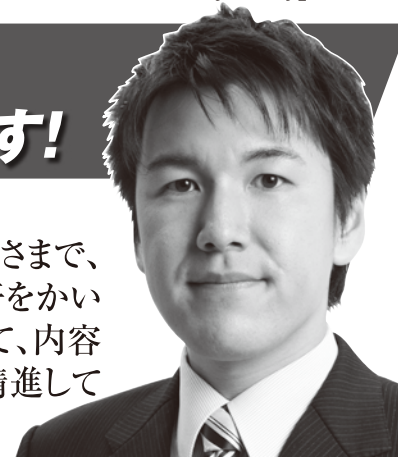
ホームページは [亀井たくま](#) で検索をお願いします!

メール DQG06110@nifty.ne.jp

将来に夢や希望を持てる市政を! 「市民ファースト」市政へ全力で働きます!

まだまだ暑い日が続きますが、皆様お元気ですか!

いつも市政へのご理解・ご協力に心から感謝を申し上げます。おかげさまで、亀井たくまは変わらず日々の活動に勤しむことができております。(日々汗をかいておりますが、なかなか痩せません)今回は6月議会での議論について、内容を抜粋してお送りいたします。今後も市民と市政をつなぐ架け橋として、精進してまいります。どうぞ叱咤のほど、よろしくお願い申し上げます。



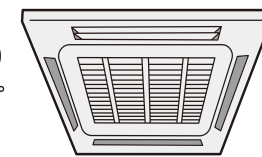
6月議会で決まったこと!



学校体育館へのエアコン整備が進みます!

学校のエアコン整備は、今年度は、中学校28校、中等教育学校1校、高等学校1校の計30校で整備工事が進められます。

今回の補正予算可決により、小学校54校については令和9年度に整備予定となり、全校設置は6年かかる予定でしたが、1年早く整備が進むことになりました。さらなるスピードアップも目指していきます。



「子ども・若者育英基金」(約50億円)を創設!

新日本建設株式会社会長・金網一男氏からの多大な寄附金等をもとに、子ども・若者支援のための基金が創設されました。市からの積立金等も含め、総額50億円規模の基金となり、家庭環境その他さまざまな困難な状況にある子ども・若者たちへの支援等に活用される方針です。

本市の子どもたちが生まれ育った環境によって、将来が閉ざされることなく、基金を活かしての取り組み・施策強化が期待されます。



中央コミュニティセンターは減築工事(約211億円)により、令和10年度にリニューアル!

千葉中央コミュニティセンター(市役所向かい)は、築50年を経過し、耐震性能にも課題が出ていたことから、全国でも事例の少ない「減築工事」(これまでの10階建てから4階建てへ減築)を実施することとなりました。

今回の議決を受けて、工事が始まり、令和10年4月に再開予定です。リニューアルにご期待ください。

各種事業の詳細については、市政だより・市ホームページをご参照ください!

皆様からの声をひとつひとつ市政へ！(会派代表質問より)

防災・高潮対策について

Q 想定最大規模の高潮に備え、避難所体制整備・要配慮者への支援を。

A 最大規模の高潮が発生した場合、美浜区のほぼ全域と中央区の半分の区域で浸水被害が想定され、区域内の78か所の指定避難所は浸水し、使用できないことが想定される。その場合は浸水想定区域外の指定避難所へ避難することになり、避難する市民は約10万人と見込んでいる。今後、避難体制のさらなる強化・検討を進めていく。

また、災害時の要配慮者の円滑な避難のため、避難先・避難手段の確保を検討するとともに、要配慮者が利用する市内施設において、避難計画作成や避難訓練の実施を進め、対策を強化していく。



最大の被害想定では、美浜区の全域・中央区の半分の地域で浸水被害が発生し、住民生活に大きな影響が生じてしまう。当該地域の住民の避難にあたっては、他地区の避難所にも影響が出ることから、円滑な避難体制を構築してほしい。

また、災害時に支援が必要となる要配慮者への支援体制の強化も急がれたい。

子育て家庭への支援拡充について

Q 子育て家庭へのさらなる支援、多子世帯への支援を。

A 今後も保育需要の推移に留意しながら施設整備を進めるとともに、保育人材の確保も重要であることから、今年度から月額最大4万円に増額した千葉市手当による助成や宿舍借り上げなどの各種支援を継続するなど、保育人材の確保支援に取り組み、待機児童ゼロを目指していく。一時預かりや病児病後児保育については、需要が多い状況であるが、引き続き、1人でも多くの方が利用できるように供給量・施設の拡大に努めていく。

多子世帯の保育料については、所得や世帯構成によって、保育料に格差が生じており、負担が大きいものとなっていることから、国基準における年齢制限や同時入所要件等を撤廃し、第2子は半額、第3子以降は無償とし、保護者負担を軽減する。



「子育てしやすい千葉市」となるよう、今後も施策充実期待する。多子世帯への支援拡充を図られたことも評価したい。

多子世帯の方々からは経済的な負担のみならず、他にもさまざまな課題が寄せられていることから、今後も各種制度の見直しや改善を求めたい。

困難・悩みを抱える女性への支援について

Q さまざまな困難・悩みを抱える女性への支援を。

A 現在、女性の抱えるさまざまな悩みに対して、男女共同参画センターにおいて相談を実施するとともに、「女性のためのつながりサポート事業」により、孤独や孤立で不安を抱える女性を対象に、相談、アウトリーチ支援、居場所の提供などの支援を行っている。

今後、国の法律を踏まえ、困難を抱える女性への支援計画を今年度中に策定するとともに、支援を円滑に行うためのさまざまな関係機関・民間団体等による「支援調整会議」の設置の準備に取り組み、支援強化に努めてまいりたい。



「生きづらさ」は性別を問わず誰もが抱えるものであるが、特に女性はさまざまなライフステージ、生活場面で悩みや困難を抱えてしまうリスクも少なくない。

市として、支援体制の強化を図り、相談や支援策の充実に努めてもらいたい。

「市民サービス」向上について

Q 区役所窓口での市民サービス向上の取り組みを。

A 市民が窓口に行かなくても各種証明書の取得を可能とする、マイナポータルの「ぴったりサービス」を利用したオンライン申請サービスや法人向けのオンライン申請サービスを開始したところであり、今年度は中央区役所にコンビニ交付サービスと同様の証明書自動交付機を設置し、コンビニ交付の利用を促進する取り組みを進めていく。

また、各種証明書の申請の際にマイナンバーカードなどを提示することにより、署名を行うだけで手続きが完了する「書かない窓口」を来年1月からの導入を目指して、取り組みを進めていく。



各種申請や証明書交付時における市民サービス向上は、多くの市民から高評価を得ており、今後も利便性の向上に取り組んでもらいたい。一方、デジタル化に不慣れな市民も多くいる(私も全然デジタル化についていけないアナログ人間です)ので、引き続き、わかりやすく丁寧な対応もお願いしたい。

こども・若者の意見を聞く市政について

Q こども・若者の声を聞き、活かす取り組みを。

A すべてのこども・若者が自分らしく健やかに成長し、自立できる環境を整えるためには、先般制定したこども・若者条例の趣旨が理解されることが不可欠であり、庁内や関係諸団体、市民への周知啓発を進めていく。

こども・若者が意見を表明する機会の確保や施策への反映のための意見聴取の場として、「こども・若者会議」(中学生～25歳くらいまでの若者20名程度の委員で構成)を新たに設置する。



選挙権のない本市のこどもたちも立派な「市民」の一員であり、私はこどもたちの声も普段から聞き、質問や提案の中にも取り入れるようにしている。

千葉市のこれからを担うこどもたちが、自分たちのまちを良くするために考えていることに対して、私たち大人も真剣に耳を傾け、市政に活かすべきと考える。

市民会館の再整備について



Q 市民会館の再整備の進捗状況は。

A これまで「JRとの複合施設」(JR東日本千葉支社跡地にJRが建設するビル内に市民会館を整備する)を目指してきたが、計画を変更し、市単独で同地の一部を購入して建設する方針となった。

今後、既に策定した計画の修正を行い、整備用地の周辺道路の整備方法などについて、JR東日本と協議を進めながら、基本設計・実施設計・工事を進めていく。市民会館の再整備は市民の期待も大きいことから、早期建設に向けて、協議を進めていく。



【建設予定地の千葉駅前・JR千葉支社跡地】



紆余曲折を経たが、ようやく方向性が決まったことを評価する。市民に利用しやすく、ニーズに合った施設となるよう、施設の内容やコンセプトについては関係者等と十分に協議するとともに、現在の市民会館の老朽化も進んでいることから、速やかに建設に向けて、取り組みを進めてもらいたい。

公民館・図書館の今後について

Q 老朽化が進む公民館・図書館の今後は。

A 老朽化した公民館・図書館については、このたび、「社会教育施設保全計画」を新たに策定し、施設ごとの状況に応じて、適切に対応を進めていきたい。

対応時期については、特定の時期に財政支出が偏らないように配慮しつつ、建築年度の古い順を基本とし、近隣公共施設の配置・整備状況、施設・設備の劣化状況などを踏まえ、判断してまいりたい。

築50年超の 公民館・図書館(中央区)	
葛 城	53年
末 広	52年
川 戸	51年
椿 森	51年
星久喜	48年
みやこ図書館 白旗分館	51年



地域の公民館や図書館は、約半数が築40年を経過し、老朽化対策が急務となっている。

中央区でも多くの公民館が築50年を超えており、新たな計画を踏まえて、今後、計画的に老朽化した公民館・図書館の更新・改良に取り組むとともに、時代の変化に即した施設として役割・機能の充実に努めてもらいたい。

競輪事業について



Q 競輪事業の現状は。今後の活性化は。

A 令和3年10月から「250競走」を開始したが、令和3～5年度は車券売上および来場者数は低迷していた。令和6年度は人気ユーザーを活用した宣伝に取り組んだ結果、車券売上は前年度3倍超の約39億円、来場者も2.5倍の約3万1000人に増加した。

今年度も人気ユーザーとコラボしたイベントや広報PRを実施するとともに、新たな取り組みも検討していく。引き続き、入場料無料などを実施し、千葉公園エリアの賑わい創出に努める。またインターネットによる車券のさらなる売上増に向けて、発売チャネルの拡充に取り組む。



「競輪事業はどうなっているの?」という声が市民からも寄せられている。イベントや宣伝の工夫によって、入場者や車券売上は増えてきているが、引き続き、さらなる活性化に努め、千葉公園エリアの賑わいづくりにも繋げてもらいたい。

町内自治会の将来について



Q 町内自治会への支援策を。

A 各区役所に全中学校区ごとに地域担当職員を配置し、地域に寄り添った支援を行うとともに、町内自治会とNPO団体などが連携して、地域課題の解決に取り組めるように新たな取り組みを進めている。

昨年度からは、町内自治会DX化の一環として、「デジタル回覧板」のモデル事業を開始するなど、町内会活動の負担軽減に向けた支援策の検討を進めている。

市から町内自治会へ依頼している各種事務負担のさらなる軽減に向けても改善を進め、町内自治会の担い手不足解消への取り組みを進めていきたい。



コロナ以降、町内自治会をはじめ、地域のさまざまな団体・組織の運営や存続が厳しくなっており、各地域からの悲痛な声が私のもとに寄せられている。

私自身も自治会長を10年以上務めているが、役員等を担う方の負担が重くなっていると痛感している。このままでは地域コミュニティは崩壊の危機であり、市は本腰を入れて抜本的な対策を講じてもらいたい。

たくさんの声、いただきました!

～改善を求めて、取り組んでいます～

前回ニュース61号配布後、多くの皆様からさまざまご意見を賜りました。ひとつひとつ、改善・反映できるように努力してまいります。貴重なご意見をありがとうございました。

- 交通安全対策を!(南生実町他)
- 側溝を直してほしい(祐光)
- 公園内のデコボコを直してほしい(新宿)
- 富士見地区のごみ対策を(富士見)
- カラス・鳥対策をしてほしい(祐光他)
- バス減便問題の抜本的対策を(松ヶ丘)
- 多子世帯への子育て支援策を
- 利用者に寄り添った公民館運営を
- 高齢者にやさしいまちづくりを望む
- 防犯対策の強化をしてほしい(多数)



【公園の遊具も新しくなりました(椿森)】